# 武蔵野銀行の価値創造プロセス

大きく変化する国内外の環境のなか、当行は経営基盤とする埼玉県を中心とした首都圏の潜在力を捉え、「多彩な価値を結集し、地域No.1のソリューションで埼玉の未来を切り拓く」という長期ビジョンのもと、デジタルと人的資本への投資を通じたサステナブルな経営基盤を確立していくことで、お客さまと地域にとって「なくてはならない銀行」として今後も成長を遂げていくことを目指しています。

## 地域金融機関を取り巻く外部環境認識

- 賃金と物価の好循環に向けた金融政策の正常化
- 激動する国内外の経済情勢
- AI等デジタルテクノロジーの進歩
- 地域活性化の取組みの強化
- 自然災害・サイバー脅威へのレジリエンス強化
- 規制緩和に伴うビジネス機会創出と異業種参入
- 資産運用立国実現に向けた取組みへの社会的要請
- カーボンニュートラルおよびネイチャーポジティブへの責任

＋

## 埼　玉　県

- 都市部再開発・産業立地の進展
- 緩やかながらも進行していく人口減少
- 全国一のスピードでの高齢化進展

## 活用する資本

INPUT

参照 P 5～ 6
P19～22

### 財務資本

- 地方銀行トップレベルの預貸率
- コンサルティング等非金利フィービジネスの成長
- 健全な貸出資産と自己資本

### 人的資本

- 従業員の地域への愛着と使命感
- 高い専門性を有する人材
- 女性をはじめとした多様な人材の活躍推進

### 社会・関係資本

- 埼玉県を中心とした首都圏という経営基盤
- 地域に密着した店舗ネットワーク
- 創業より培われ、拡大を続けるお客さま基盤

### 知的資本

- 地域に根差したネットワークを通じた情報の質と量
- 事業性評価を通じた多様で高度なコンサルティング提供機能
- 新事業・サービス創出に資するデジタルの活用

### 自然資本

- 水と緑に彩られた埼玉の豊かな自然環境と多様な生態系

## ビ

事業活動

### 長期ビジョン

### 中期経営計画「MCP

参照 P23～24

リアルとデジタルを融合し、地域・お

| | |
|---|---|
| 営業推進態勢 | 法人戦略 |
| 地域活性化戦略 | グループ戦略 |

あらゆる価値を認め合い、多彩な

| | |
|---|---|
| デジタル戦略 | 人材戦略 |
| アライアンス戦略 | サステナビリティ戦略 |

### 重要課題

参照 P27～72

埼玉の発展を主導し、お

ジ ネ ス モ デ ル

OUTPUT

多彩な価値を結集し、地域No.1のソリューションで
埼玉の未来を切り拓く

1/3」

客さまと共に歩む

個人戦略

チャネル戦略

人材が躍動する

有価証券戦略

経営管理態勢

サービスレベル向上・
顧客接点の増強による
お客さま満足の最大化

デジタル・人的資本への
投資を通じたサステナブルな
経営基盤の構築

| | |
|---|---|
| 地域経済の持続的発展と豊かな地域社会の実現 | 地域の自然環境の持続的な保全と利用 |
| 多彩な人材の活躍推進 | 強靭な企業統治と組織体制の構築 |

## 提供する価値

OUTCOME

| 埼玉県の豊かな未来 |

### 株主・投資家

株主価値の向上

### 地域社会

地域全体の
イノベーションに貢献
一層の産業振興

### お客さま

お取引先の企業価値向上
安定的な資産形成・承継

### 従業員

積極的にチャレンジできる
企業文化・風土の創出
ダイバーシティの推進
地元の雇用創出

### 地球環境

地域における脱炭素や
生物多様性の取組み促進

**客さまの期待に応えることで自らも成長する**